

# 名事研=ユース

NO.142

発行日 平成23年5月20日

## 平成23年度事業スタート！今年度もよろしく申し上げます



### 「情熱と連帯感を持って取り組む」

会長 榊原 功剛（富士中学校）

平成23年度は創立50周年の節目を経て、新たな名事研体制でスタートします。組織改革やグランドデザインの策定に向けた取り組みから、その実践により新たな学校事務につなげていく年度です。

本年度、名古屋市教育委員会は「夢に向かって人生をきり拓くなごやっ子の育成」を基本理念とする名古屋市教育振興基本計画を策定しました。そして、子どもが、笑顔で学校生活を送り、瞳を輝かせて学ぶことができるように、名古屋市学校教育の努力目標を「広がる笑顔 輝く瞳」と決めました。各校では学びの連続性を重視しつつ、明確な教育目標に基づく教育活動を展開し、主体的に学校運営・教育活動を改善する「創造していく学校づくり」に努めていかなければなりません。

学校事務においては、学校間連携を基盤とする学校事務支援センターの設置や副拠点校の指定など、新たな制度が始まりました。学校事務支援センターは学校事務の集約化を図り、効率性・確実性の向上等を目指しており、名古屋の学校事務が大きく変化していくこととなります。

名古屋の学校事務のグランドデザインは、これからの学校事務・学校事務職員の5年間をあらわしています。名古屋の学校事務をどう創っていくか、実践するのが私たちの課題です。また、名古屋市教育振興基本計画の基本理念から、名古屋の子どもたちのために、教職員や保護者などと同じ思いで取り組んでいくことも必要です。

そこで、名事研テーマを

『名古屋の学校事務をデザインする ～夢に向かうなごやっ子のために～』

と設定しました。

仕事が多岐多岐になり、目の前のことに追われてしまいがちでも、その仕事は学校教育にどう役立っているのか、自分たちの力をどう生かすかを考えることが大切なことです。現状の課題解決とともに、その先にある「名古屋の学校事務」を創っていくこと、それを提言していける名事研にしていきたいと考えます。グランドデザイン行動計画の推進、事業の見える化をし、PRとともに、会員・部局間など名事研組織内の意思疎通を図ってまいります。

平成20年度からの定期総会の新規採用者名簿をみますと、今年度までで110名の方が私たちの仲間になっています。世代交代が大きく進むなかで、新たな組織体制のもと、名事研事業をすすめてまいります。

一足飛びにはできなくとも、会員みなさんと一体となり、連帯感をもって取り組むことで、着実に進んでいきたいと思っております。

## 定期総会・講演会



4月22日（金）に名古屋市教育センターで平成23年度定期総会が行われ、平成22年度事業報告・決算報告、平成23年度事業計画・予算案等が承認されました。今年度は前年度臨時総会で承認された1局3部の新体制となり、名事研テーマも新しく設定され、「名古屋の学校事務のグランドデザイン」の取り組みなど、名事研が会員とともに大きく変わっていく年度にしていかなければならないと感じました。

また、定期総会の最初には新規採用者のあいさつがあり、今年度も27名という多くの仲間が新たに加わってくれました。会場ではここ数年恒例となっている、舞台上に1列に並べず2列に並んで一人ひとりがあいさつしていく光景が見られました。



定期総会に先立って行われた講演会では、名古屋市教育委員会指導室指導主事 佐藤佳子 氏を講師に、「新学習指導要領について」をテーマにお話をいただきました。改正のポイントを分かりやすく、学校事務職員に注意してもらいたいポイントも例示しながら説明されました。また、文部科学省に出張されている際に東日本大震災に遭遇したことなどから、小学5年国語に64年ぶりに掲載された「稲むらの火」を読み上げて、紹介されました。

### 専門部紹介 今年度から1局3部となります

#### 事務局 事務局長 白根 勲

名事研の役割とは何か。そんなことが今年、改めて問われることになると思います。名事研の目的を見失うことなく、名古屋の学校教育を広い視野で見ることにより、理想の学校事務を常に追究する組織でありたい。そんな名事研をみんなの力で育てていきたいと願っています。夢に向かうなごやっ子のために。

#### 研修部 研修部長 遠藤 剛

今年は長女と一緒に大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」を観ています。その中の江の台詞で、「なにがなにやらわからぬ」というものがありました。状況に疑問を持ち、悩む時こそ成長の機会だと僕は思っています。

研修部は今年もみなさんの資質向上のサポートをするべく、研修会の企画を行います。お気づきの点等ありましたら、いつでもお教え下さい。

#### 研究部 研究部長 毛利 和正

『学校事務の標準』や『新しい学校事務』について研究を進めていくために、「学校間連携の推進」や「学校事務支援センターの役割」を研究活動に取り上げていきます。

着眼大局・着手小局（発想や観点は大きく、実行は部分的なところから）により、数年先を見据えた、研究活動を行っていきたいと思います。ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

#### 情報部 情報部長 早川 数幸

今年度の名事研の重点項目に「名事研事業の見える化」があります。この点において情報部に求められるものは重要になってくると思います。

会員のみなさんと名事研の距離が少しでも近づくように情報発信に努めます。

専門部では現在も部員を募集しています。一人でも多くの方と協力して活動していきたいと思います。興味のある部があれば、直接各部長まで連絡してください。お待ちしております。

#### 編集後記

新年度のスタートとして、名事研として方針をお伝えする内容となっております。今後も会員と名事研をつなげるような発信を検討します。